

令和6年度 事業計画

[本年度の目標]

本学会の公益目的事業の円滑な遂行を図るとともに社会との接点を広げ、学術研究の成果として得られる情報を学会内で学の見地から統合・整理・発展させ、かつ広く社会に発信していく活動を充実させるため、以下の各種事業を行う。また、国際政情不安や社会情勢の変化、地球温暖化、大規模な自然災害など食料の安定供給に影響を及ぼす諸問題が頻発する中で、水産・海洋試験研究機関等と連携を取りながら水産業への支援およびSDGsに関連する活動を本年度も継続して行うこととする。

1. 役員会・組織運営等に関する事項

(1) 総会

- a) 定時社員総会は、定款第13条に基づき、令和6年5月8日に開催する。また、必要がある場合には臨時社員総会を開催する。

(2) 理事会

- a) 通常理事会は、定款第29条及び理事会運営規程第2条2項に基づき、7回開催する。また、理事会運営規程第2条3項による臨時理事会は随時開催する。

(3) 支部

a) 北海道支部

支部総会を年1回（開催日未定）、支部幹事会を年1回（開催日未定）開催する。

b) 東北支部

支部総会を年1回（令和7年2月予定）、支部幹事会を年3回（第1回令和6年6月予定、メール会議、第2回令和6年10月予定、於秋田県、第3回令和7年2月予定、於東北大学）、連絡調整員会議を年1回（令和6年6月予定、メール会議）開催する。

c) 関東支部

支部幹事会を年1回（令和6年8月予定、オンライン開催）開催する。

d) 中部支部

支部総会を年1回（開催日未定）、支部幹事会を年1回（開催日未定）開催する。

e) 近畿支部

支部幹事会を年4回（第1回令和6年6月上旬予定、オンライン開催、第2回令和6年9月上旬予定、オンライン開催、第3回令和6年12月上旬予定、於京都大学、第4回令和6年12月中旬予定、オンライン開催）開催する。

f) 中国・四国支部

支部幹事会を年1回（令和6年11月又は12月予定）開催する。

g) 九州支部

支部総会を年1回（開催日未定）、支部幹事会を年1回（開催日未定）開催する。

(4) 委員会

a) 編集委員会

学会誌の編集方針、報文の原稿の書き方、印刷物の体裁、オンライン投稿と審査に関する手続き等及び論文賞候補の推薦に係る必要事項を審議するため、年4回定期的に開催するほか、必要に応じて随時開催する。

b) 企画広報委員会

和文誌に掲載する記事の企画を行うほか、和文誌の編集発行、学会ホームページの運営及び新たな事業の企画と広報に関する業務について審議するため、隔月1回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

c) 学会賞選考委員会

学会賞受賞候補者及び日本農学賞その他の受賞候補者について審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

d) シンポジウム企画委員会

シンポジウムとミニシンポジウムの題目及び企画責任者について審議するため、年2回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

e) 出版委員会

- 学術図書の出版企画，出版社との契約事項等を審議するため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- f) 水産環境保全委員会
水産環境の保全に関連する諸事項について審議し，シンポジウム，講演会の企画・開催等に関連する業務を行うため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
 - g) 漁業懇話会委員会
懇話会，講演会，研究会等の企画，開催に関する事項を審議するため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
 - h) 水産利用懇話会委員会
懇話会，講演会，研究会等の企画，開催に関する事項を審議するため，年3回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
 - i) 水産増殖懇話会委員会
懇話会，講演会，研究会等の企画，開催に関する事項を審議するため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
 - j) 国際交流委員会
国際交流に関する諸事項を審議するため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
 - k) 選挙管理委員会
理事及び監事の候補者の選挙，学会賞選考委員の選挙ならびに役員の下員のための補欠の候補者の選挙に関する審議，業務を行うため，必要に応じて随時開催する。
 - l) 水産教育推進委員会
水産教育に係る事項について審議し，理事会の承認を得て行う事業を実施するため，年4回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
 - m) 水産技術誌監修委員会
水産分野の技術者，研究者，事業者等を対象として国立研究開発法人水産研究・教育機構が企画・編集し，定期的に刊行する和文誌「水産技術」について，編集の方針を提示し，編集の監督を行うため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
 - n) 水産政策委員会
会長あるいは理事会の諮問に対応して各種の提言案を作成し，理事会に答申するため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
 - o) 男女共同参画推進委員会
本学会における男女共同参画に関する諸事項を審議し，関連の業務を行うため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
 - p) 水産学若手の会委員会
水産と水産学に係わる若手研究者や学生の研究・交流の促進に関する諸事項を審議し，関連の業務を行うため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。

[公益目的事業1]

研究発表会及び学術講演会・シンポジウムの開催ならびに研究業績の表彰による水産学の学術の発展と科学技術の振興を推進するため，以下の事業を行う。

2. 研究発表会及び学術講演会等の開催による水産学研究の推進事業（定款第4条1項1号に定める事業）

(1) 研究発表会

- a) 春季大会：令和6年3月27日～3月30日
於東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区）
大会委員長 遠藤英明（東京海洋大学）
研究発表 口頭，ポスター
高校生による研究発表
シンポジウム，ミニシンポジウム，講演会
令和5年度学会賞受賞者講演
- b) 秋季大会：令和6年9月24日～9月27日
於京都大学吉田キャンパス（京都市）
大会委員長 佐藤健司（京都大学）
研究発表 口頭，ポスター
高校生による研究発表

シンポジウム, ミニシンポジウム, 講演会

(2) 各支部が行う研究発表会及び講演会

a) 北海道支部

①支部大会の開催(研究発表, シンポジウム又は特別講演, 令和6年12月予定)

b) 東北支部

①支部大会の開催(研究発表, ミニシンポジウム, 令和6年10月予定, 於秋田県)

②支部例会の開催(特別講演, 令和7年2月予定, 於東北大学)

c) 中部支部

①支部大会の開催(研究発表, ミニシンポジウム, 開催日未定)

d) 近畿支部

①支部後期例会の開催(研究発表, 講演会, 令和6年12月上旬予定, 於京都大学農学部)

e) 中国・四国支部

①支部例会の開催(研究発表, シンポジウム, 令和6年11月30日・12月1日予定, 於高知大学浅倉キャンパス)

f) 九州支部

①支部例会の開催(シンポジウム, 開催日未定)

②支部大会の開催(研究発表, 開催日未定)

(3) 各委員会が行う研究発表会及び講演会

a) 企画広報委員会

①水産に関する勉強会の開催(開催日未定)

b) シンポジウム企画委員会

①シンポジウムの開催

(令和6年9月, 於京都大学吉田キャンパス)

数件の開催を予定している。

②ミニシンポジウムの開催

(令和6年3月27日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

「水圏動物の「賢さ」から水産学への展開を探る」

企画責任者: 高橋宏司, 安房田智司, 佐藤成祥, 石原千晶, 幸田正典

「水圏生物の行動解析～水産分野における難題へのチャレンジ～」

企画責任者: 紫加田知幸, 野田 勉

(令和6年9月, 於京都大学吉田キャンパス)

数件の開催を予定している。

c) 水産環境保全委員会

①シンポジウム「農林水産業の気候変動影響評価手法と水産分野における将来予測・適応策—水産分野における課題と展望—」の開催(令和6年3月27日, 於東京海洋大学品川キャンパス(ハイブリッド開催))

②研究会の開催(令和6年9月予定, 於京都大学吉田キャンパス)

③沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウムの開催(開催日未定)

d) 漁業懇話会委員会

①第75回講演会「定置網漁業における数量管理と選択漁獲技術」の開催(令和6年3月27日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

②漁業懇話会報の発行

e) 水産利用懇話会委員会

①令和6年度第1回講演会の開催(令和6年10月予定, 於水産研究・教育機構横浜庁舎)

②令和6年度第2回講演会の開催(令和7年1月予定, 於水産研究・教育機構横浜庁舎)

f) 水産増殖懇話会委員会

①令和6年度第1回講演会「国内養殖産業におけるこれからの育種」の開催(令和6年3月27日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

②令和6年度第2回講演会の開催(令和6年9月予定, 於京都大学吉田キャンパス)

g) 国際交流委員会

①令和5年度公益社団法人日本水産学会春季大会におけるSDGsセッションへの協力

h) 水産政策委員会

①シンポジウム「福島第一原発処理水と水産業」の開催（令和6年3月27日，於東京海洋大学品川キャンパス（ハイブリッド開催））

i) 男女共同参画推進委員会

①セミナーの開催（令和6年9月予定，於京都大学吉田キャンパス）

j) 水産学若手の会委員会

①シンポジウム「20代の水産研究者が考える〇〇～これまでの経験・価値観・研究の観点から～」の開催（令和6年3月27日，於東京海洋大学品川キャンパス）

②ナイトポスターセッションの開催（令和6年3月及び9月予定）

③若手研究者による水産研究の紹介及びキャリアパスなどの若手研究者を取り巻く課題について紹介する企画の開催（令和6年9月予定，於京都大学吉田キャンパス）

④学生・若手研究者の研究活動・キャリア形成活動を支援するイベントの開催（開催日未定）

k) その他

3. 関連学会等との連携及び協力ならびに社会連携の推進事業（定款第4条1項3号に定める事業）

(1) 関連学会等との連携及び協力

a) 第24回マリンバイオテクノロジー学会大会

主催 マリンバイオテクノロジー学会，協賛 化学工学会 他25学協会
令和6年5月25日・26日，於筑波大学春日キャンパス

b) 第15回国際カイアシ類学会の後援

主催 国際カイアシ類研究者連合，広島大学大学院統合生命科学研究科，後援 日本ベントス学会 他5学協会
令和6年6月2日～7日，於広島国際会議場

c) 第61回アイソトープ・放射線研究発表会の後援

主催 日本アイソトープ協会，協賛又は後援 応用物理学会 他67学協会
令和6年7月3日～5日，於日本科学未来館

d) その他，関連学会等が主催する講演会等の共催，協賛，後援

(2) 日本学術会議が行う事業への協力

(3) (一社)日本農学会が行う事業への協力

(4) (公財)農学会が行う事業への協力

a) 教育推進委員会委員の派遣

(5) (公社)日本技術士会 CPD（継続研鑽）行事参加票の配布

(6) 水産・海洋科学研究連絡協議会への参加及び委員の派遣

(7) 海外との学术交流等

a) 令和6年度公益社団法人日本水産学会春季大会へのアメリカ水産学会，イギリス諸島水産学会，韓国水産科学会及び中国水産学会代表者の招聘

b) 第154回アメリカ水産学会大会（2024年9月予定，アメリカ・ホノルル）への代表者及び委員の派遣

c) イギリス諸島水産学会大会（2024年7月予定，スペイン・ビルバオ）への代表者及び委員の派遣

d) 韓国水産科学会大会（2024年11月予定）への代表者及び委員の派遣

e) 中国水産学会大会（2024年11月予定）への代表者及び委員の派遣

f) 中国水産学会との学術雑誌の交換

g) アジア水産学会評議員会への代表者の派遣

h) 世界水産学協議会（WCFS）への代表者の派遣

i) 水産教育推進委員会との連携

j) 若手会員に対するインターンシップ，海外水産関係大会の参加又は学術調査への協力

k) 水産学若手の会の海外講演者招聘への協力

l) その他，文献交換の斡旋，外国人研究者との交流等海外との学术交流に関する事業

(8) ベルソーブックス刊行への協力

(9) 水産技術誌の監修

a) 水産分野の技術者，研究者，事業者等を対象として国立研究開発法人水産研究・教育機構が企画・編集し，定期的に刊行する和文誌「水産技術」を監修する。

(10) 第43回「海とさかな」自由研究・作品コンクールへの協力

- a) 小学生を対象とした、朝日学生新聞社主催の海と魚をテーマとした作品コンクールにおいて、募集ポスターやガイドブックの配付、審査員派遣等の協力を行う。

(11) 水産高校との連携

- a) 水産高校との連絡勉強会の開催

(12) 水産政策に関連する情報収集及び発信

- a) 漁業関連国際条約に関する情報収集

(13) 男女共同参画の推進

- a) 男女共同参画学協会連絡会運営委員会への出席
- b) 男女共同参画学協会連絡会主催シンポジウムへの出席及びポスターの展示
- c) 東京海洋大学女性研究者支援機構との連携

(14) 水産と水産学に係わる若手研究者や学生の研究・交流の促進

- a) SNS 等による情報交換
- b) 発表のない学部学生の大会招待（春季大会及び秋季大会）
- c) 国際交流委員会の若手研究者の海外派遣への協力

(15) 全国水産試験場長会との連携

(16) その他

4. 研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款第4条1項4号に定める事業）

(1) 日本水産学会における賞の授与

学会賞授賞規程に基づき、以下の賞を授与する。

- a) 日本水産学会賞
- b) 日本水産学会功績賞
- c) 水産学進歩賞
- d) 水産学奨励賞
- e) 水産学技術賞

(2) 日本水産学会論文賞の授与

論文賞授賞規程に基づき、日本水産学会論文賞を授与する。

(3) 各支部・委員会等における表彰

a) 北海道支部

- ①最優秀講演賞
- ②最優秀学生講演賞

b) 東北支部

- ①東北支部長賞
- ②全国水産・海洋高等学校生徒研究発表東北地区大会における東北支部長奨励賞

c) 関東支部

- ①春季大会高校生による研究発表会における表彰

d) 中部支部

- ①支部長賞
- ②優秀発表賞

e) 近畿支部

- ①優秀発表賞
- ②高校生奨励賞
- ③秋季大会高校生による研究発表会における表彰

f) 中国・四国支部

- ①一般口頭発表支部長賞
- ②一般ポスター発表支部長賞
- ③高校生ポスター発表支部長賞

g) 九州支部

- ①学生優秀発表賞
- ②ポスター賞

③高校生優秀研究発表賞

h) 漁業懇話会委員会

①漁業懇話会奨励賞

i) その他

- (4) 「海とさかな」自由研究・作品コンクールにおける日本水産学会会長賞の授与
- (5) 他の学術関係の賞等に対する候補者の推薦

[公益目的事業2]

水産学に関する学会誌及び学術図書の刊行ならびにインターネットによる情報提供を通じて、水産学研究の科学技術成果の普及を行うため、以下の事業を行う。

5. 学会誌及び学術図書の刊行による水産学研究の普及事業（定款第4条1項2号に定める事業）

(1) 学会誌の刊行

a) 日本水産学会誌第90巻2号～第91巻1号まで計6冊 [報文65編，総説，企画記事等総ページ約1,300ページ（各号330部刊行予定）]

b) Fisheries Science 第90巻2号～第91巻1号まで計6冊 [報文85編，総説等総ページ約1,200ページ（各号220部刊行予定）]

(2) e-水産学シリーズの刊行

(3) 英文書籍 Fisheries Science Series の刊行

(4) 日本水産学会誌のJ-STAGE上における公開